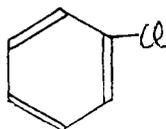


モノクロルベンゼンの濃縮度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和50年3月22日～昭和50年7月25日
 2. 試料名 モノクロルベンゼン (試料No K-30)
 分子式 C_6H_5Cl
 構造式



3. 試験方法及び条件

環保業第5号
 薬発第615号 } 魚介類の体内における化学物質の濃縮度試験による
 49基局第392号

3.1 試験装置及び機器

水系環境調節装置 流水式
 ガスクロマトグラフ 検出器 FID

3.2 試験条件

3.2.1 TLm 試験

(a) 試験魚

ヒメダカ平均体重 0.3g 塩化第二水銀検定合格魚[※]
 ※田端健二 用水と廃水 14, 1297~1303(1972)

(b) 分散剤

ポリオキシエチレン高級脂肪酸グリコールエステル
 (高級脂肪酸: リシノール酸水素添加物)

第1濃度区 試料 10gに対し 分散剤 2.5g使用
 第2濃度区 試料 1gに対し 分散剤 2.5g使用

(c) 試験温度 25 ± 2℃

(d) 結果 48 TLm / 7 ppm

3.2.2 濃縮度試験

(a) 試験魚

コイ, 平均体重 約 3.2g
 平均体長 約 12cm

(b) 試験温度 25 ± 2℃

(c) 試験濃度

設定値

48 TLm 値 17 ppm であり、その $\frac{1}{100}$, $\frac{1}{1000}$ を設定濃度とした。

第1濃度区 $17 \text{ ppm} \times \frac{1}{100} \doteq 0.15 \text{ ppm}$

第2濃度区 $17 \text{ ppm} \times \frac{1}{1000} \doteq 0.015 \text{ ppm}$

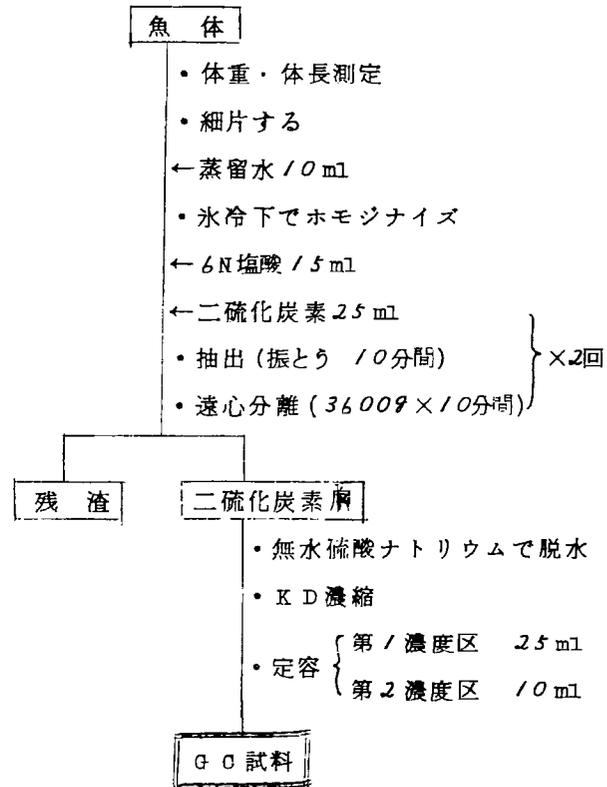
実測値

表-1 濃縮倍率を求めるための平均濃度 (ppm)

	2 W	3 W	4 W	6 W	8 W
第1濃度区	0.0460	0.0429	0.0448	0.0462	0.0496
第2濃度区	0.0080	0.0084	0.0086	0.0086	0.0088

(以下余白、次頁に続く)

3.2.3 分析試料の前処理



3.2.4 分析条件

ガスクロマトグラフ (GC) 検出器 FID

キャリアガス N_2

充てん剤 2%アピエゾンL/クロモソルブW

ガラスカラム 2mm ϕ × 3m

カラム温度 60℃~80℃ 1分間保持昇温速度 10℃/min

(以下余白、次頁に続く)

4 試験結果

表 - 2 濃縮倍率

	2 W	3 W	4 W	6 W	8 W	付図	付表
第1濃度区	36.5	29.5	4.3	22.2	17.0	1, 4, 5	3, 4, 6
	38.1	39.6	13.8	26.6	27.3		
第2濃度区	22.8	12.1	11.3	9.0	12.3	2, 4, 6	3, 5, 6
	6.9	3.9	16.0	14.4	4.3		

以上